

2 直接金融と間接金融

金融とは？

お金のやり取りや貸し付けなどを通じて資金を融通することです。多くは銀行や証券会社などを通じて行われます。個人間の貸付も、貸し手と借り手の間に「貸付金」として行われます。

直接金融とは？

お金のやり取りが直接行われることです。お金の貸し付けや借り付けは、お金の貸し手と借り手の間に直接行われます。お金の貸し手と借り手の間に「貸付金」として行われます。

間接金融とは？

お金のやり取りが銀行や証券会社などを通じて行われます。お金の貸し手と借り手の間に「貸付金」として行われます。

直接金融と間接金融の特徴

直接金融	間接金融
<ul style="list-style-type: none"> お金の貸し手と借り手の間に直接行われます。 お金の貸し手と借り手の間に「貸付金」として行われます。 	<ul style="list-style-type: none"> お金のやり取りが銀行や証券会社などを通じて行われます。 お金の貸し手と借り手の間に「貸付金」として行われます。

新しい事業を興すには、人を雇ったり、材料を買ったり、工場をつくったりするために資金が必要である。どのようにそれらの資金を集めるかを学ぶ。

金融とは？

お金の余裕があるところから、お金を必要としているところに融通するしくみである。また、金融は経済の血液によくたとえられ、あるときは会社から個人へ、あるときは個人・会社から国へと人間の体の中を血液が循環するように流れ動いて、経済に活力を与えている。一般に、家計でお金が余れば銀行等に預ける。また、住宅購入等でお金が必要になると、銀行等から借入れをする。これらも金融である。

直接金融とは？

資金の提供者である投資家が、資金の受け手の会社等に直接資金を融通するしくみである。直接金融の担い手は証券会社である。

間接金融とは？

銀行が預金を会社等に貸し付ける場合、資金の出し手である預金者が、間接的に資金を提供することになるので、これを間接金融という。

コラム

直接金融と間接金融の特徴

直接金融には、次のようなメリットと特徴がある。

投資家から見ると、どの会社に出資するかが選択できるので、会社の将来性等を見て投資することができる。投資した会社が良好な経営状態であれば配当が得られ、株価の値上がりによる売却益が得られる一方、経営状態が思わしくない場合は、配当が得られなくなったり、株価の値下がりにより損失を被ることがある。受け手である会社から見ると、多くの株式を発行することによって、広く多額の資金を調達することができ、その資金は会社が存続する限り使うことができる。

間接金融には、次のようなメリットと特徴がある。

預金者にとっては、銀行等が資金を貸した会社の経営状態にかかわらず利子を得られ、必要ときは直ちに預金を引き出すことができる。ただし、預金者は銀行等に対して自分が預けたお金の投資先を指示することはできない。

銀行等からの資金の借り手である会社から見ると、大きな金額を借りられるが、借りたお金は、期限内に利子をつけて返済しなければならない。

重要語句

●金融機関

金融の仲立ちをするところ。代表的な金融機関が銀行。銀行のほかには、中小企業金融機関（商工組合中央金庫、信用金庫等）、農林水産金融機関（農林中央金庫、農業協同組合、漁業協同組合等）、政府金融機関（日本政策投資銀行、住宅金融支援機構等）、保険会社、証券会社等がある。

指導上の留意点

お金を融通するしくみには、直接金融と間接金融があることを理解させる。また、直接金融と間接金融のしくみや特徴についても理解させる。